

労働力調査（基本集計）

2023年（令和5年）10～12月期平均

結果の概要

[全国]

- ・ 就業者数は6768万人と、前年同期に比べ36万人の増加
- ・ 完全失業者数は167万人と、前年同期と同数
- ・ 完全失業率（原数値）は2.4%と、前年同期と同率

[地域別]

- ・ 就業者数の対前年同期増減をみると、北海道、南関東、北関東・甲信、近畿、九州及び沖縄は増加、東北、北陸及び東海は同数、中国及び四国は減少
- ・ 完全失業者数の対前年同期増減をみると、東北、南関東、北関東・甲信及び東海は増加、北海道、北陸、中国及び沖縄は同数、近畿、四国及び九州は減少

- ・ 完全失業率の実数及び対前年同期ポイント差は、次のとおり

北海道	2.7%	(前年同期と同率)	近畿	2.6%	(0.1ポイント低下)
東北	2.8%	(0.1ポイント上昇)	中国	2.1%	(前年同期と同率)
南関東	2.5%	(0.1 ")	四国	2.2%	(0.6ポイント低下)
北関東・甲信	2.5%	(0.3 ")	九州	2.5%	(0.2 ")
北陸	1.9%	(0.1 ")	沖縄	2.9%	(0.2 ")
東海	1.9%	(前年同期と同率)			

図1 地域別完全失業率

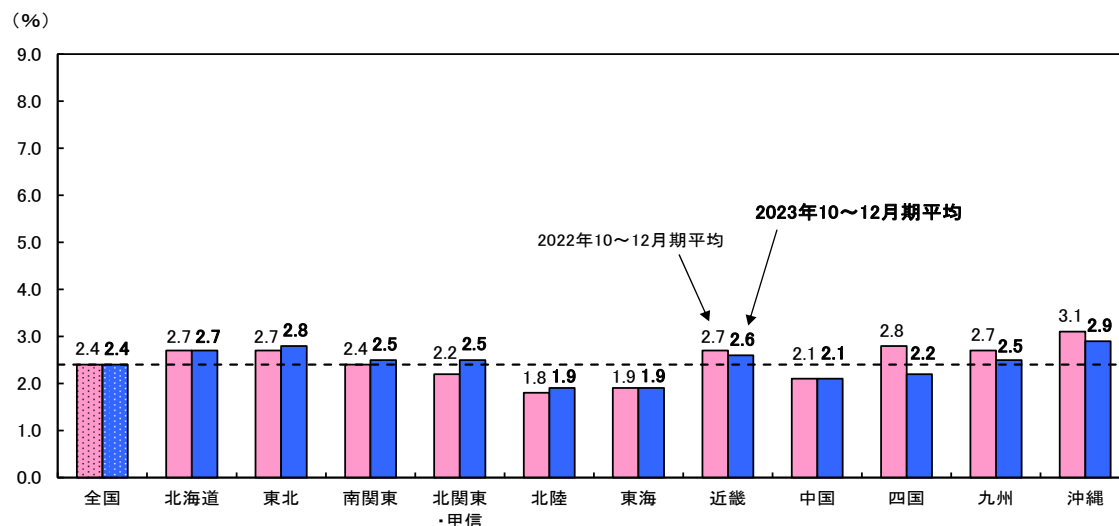


図2 地域別完全失業率の対前年同期ポイント差の推移

